

アサヒビール吹田工場と万博記念公園太陽の塔 見学

日程： 平成31年10月21日(月) 8:20 **JR 垂水駅西口改札前集合**

8:35 JR垂水駅より8:35分発快速米原行、新大阪で各駅停車乗換

9:36 JR吹田駅下車、徒歩10分 アサヒビール吹田工場へ

アサヒビール吹田工場では、美人ガイドの案内でアサヒスーパードライの製造工程や工場内部の見学後にアサヒスーパードライやブラックのテイスティングを約90分間体験予定。

アサヒビール工場見学終了後、徒歩で阪急吹田駅へ移動、モノレールを乗り継いで山田駅で、万博記念公園へ移動、13:00から太陽の塔入場、内部の見学後モノレール千里中央経由JR新大阪経由垂水駅帰着。解散。



提供：google 改札 net 画像より



アサヒビール吹田工場全景 提供：毎日ビールJ Rより

アサヒビール吹田工場はJ R吹田駅から徒歩**10**分ほどで到着しました。受付で、「垂水マスターズの見楽の会15名です」と申告すると、受付のお嬢さんから垂水からようこそおいでくださいました」と、丁寧に工場の通用口へと案内頂き、工場見学ブースを紹介頂きました。「流石に切れ味鋭いビール製造工場」と感心させられました。



提供：毎日ビールJ Rより



最初にシャートルームへ通され、アサヒビールの簡単な説明と前進は大阪麦酒製造会社であったことが紹介されました。

提供：毎日ビールJ Rより



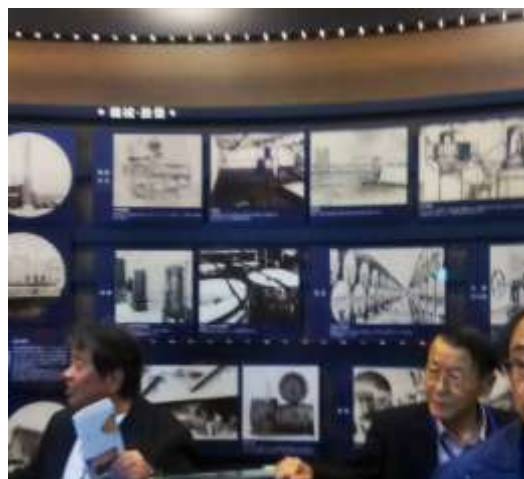
シャータールームでは美人アシスタントから、ビール製造に関する説明やアサヒビール株式会社の簡単な説明を受けた後、ビールの主原料である麦芽やホップについての紹介、そして大変香ばしい麦芽の試食もありましたがホップについては香り付であり、味覚は大変 苦く 香りだけで試食は避けるようにアドバイスされました。

アサヒビールが得意とするスーパードライは様々な原料からつくられた「麦汁」にアサヒが独自に見出した酵母 **R318** で発酵・熟成させた結果、誕生させた画期的で特徴的な切れのあるビールに完成させた他社にない製品と紹介されました。そう聞くと「早く試飲がしたいと流行る気持ち。」



提供：アサヒビール工場見学より

昔懐かしい大阪麦酒時代の看板や資料の展示ルーム。





アサヒスパードライエクストラゴールド、スーパーブラックもええけど、流石アサヒビール、アシスタントガイドも美人で揃えとるし、今日の見学者は“おじさんに大人気や”混んどるなー。。。。。



提供：毎日ビールJ Rより

アサヒビール工場では試飲の事を“官能試験“と称し、製品の検査要項のひとつだそうです。
「官能検査では、皆さんアサヒビールバンザイでした。」



スパードライエクストラゴールドは一人一杯だけでしたが、ドライブラックもなかなか味わい深いビールでしたよ！



垂水マスターズの皆さんアサヒビールでの「官能試験(ンビールの試飲コーナー)」はいかがでしたでしょうか？既に **3** 敗目クリヤーの皆さんの御顔に”満足・満足” のほろ酔い気分。お帰りの際は気をつけて下さいね。



アサヒビール工場の見学を終えて記念撮影です。美人の工場案内ガイドさんとの記念撮影に皆さん「ほろ酔い気分もあって、目尻が下がっています。」

これを契機にアサヒドライビールファンも増え益々売り上げ倍増となることでしょうね！！

アサヒビール工場の見学を終えて、皆さんは阪急吹田駅経由、山田駅からモノレールを乗り継ぎ、万博記念公園へ移動、「太陽の塔」を訪れ、塔内部見学後解散の予定です。

日本万博博覧会の開催は1970年代、ほぼ四半世紀ぶりに太陽の塔を音連れる方もおいででしょうから、久々に見る故岡本太郎作品懐かしく感じられることでしょうか？



提供 **GOOGLE** : 万博記念公園/太陽の塔より